



## ◆巻頭言

## 高齢者

渡部文博

このところ高齢者の運転事故のニュースがやたらと多いと思う。

高齢者・高齢者と何か意図があるような気がするのは私だけだろうか。

日本老年学会が高齢者は75歳からに引き上げようという提言が出て、今の65歳～74歳は元気だから、そぐわないということで準高齢者と名付けた。

医療保険では65歳～75歳を前期高齢者、75歳以上を後期高齢者と区分け。

自動車の運転の場合は70歳以上が一律高齢者である

日本人の平均寿命が男性80歳、女性87歳と大きく延びて、4人に一人が65歳以上の長寿となった。

日本の会社は60歳定年が多いが、ある調査で何歳まで働きたいかの回答で最も多かったのが『働けるうちはいつまでも』次は『65歳くらいまで』だった。

社会に支えられるのではなく、支える側にいたいと考える人が多いということであると注釈が付いていた。

働く意思のある限り働く『生涯現役』が理想だろうけれども、それぞれの状態に応じて社会参加ができる仕組みや社会保証制度ができれば良いと思う。

## ● 29年3月・4月活動予定

① 3月12日(日)9時半～14時半

・集合場所 池の下広場

◇作業目的:多様性保全型落葉樹林を目指した植樹。

・作業内容:いっしんどう作業エリア港南台側斜面に広葉樹の植樹。

中尾根E6-2からコナラをA2-2,3へ移植。

※お願い:移植樹(コナラ実生)を運搬するのにバケツを使います。

当日参加して頂ける方は、各自バケツを持参して下さい。

宜しくお願い致します。

・持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、バケツ、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、スコップ、唐鍬、カケヤ、麻紐、添木

刈り込みバサミ、刈払機

② 3月26日(日)9時半～14時半

・集合場所 池の下広場

◇作業目的:平成29年度作業計画の検収。

・作業内容:作業エリアのモニタリング。

29年度作業計画との整合性の検討

※12時～14時半 観桜会(部会総会)

・持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、

③ 4月9日(日)9時半～14時半 ・集合場所 池の下広場

◇作業目的:多様性保全型落葉樹林を目指した保全作業。

・作業内容:中尾根作業エリア南側の林床整理。

アオキ、シロダモ、ツル植物の除伐と片付け。

・持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、ロープ

④ 4月23日(日)9時半～14時半 ・集合場所 池の下広場

◇作業目的:在来種の保護(外来植物の駆除作業)

・作業内容:いっしんどう・尾根道作業エリア。

オオブタクサ、セイタカアワダチソウ等の駆除作業。

・持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、刈払機、ロープ

29年4月号の原稿に関し、上記活動報告は上手旦充氏巻頭言は渡邊富男氏 リレートークは石渡孝二氏です。原稿の締め切りは29年4月25日(土)、伊藤氏迄宜しくお願いします。)欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

「瀬上さとやまもりの会 活動日誌」

①2月12日((日)晴のち曇り 集合9:00 池の下広場

◎参加者 浅見、伊藤、枝村、小宅、佐谷、上手、高嶋、竹内、野沢、前村 三島、山上、渡邊、渡部 中塚(事務局) 計15名

◎作業場所 いっしんどう作業エリア

◎作業内容 林床整理と下記ボランティア団体への体験教室開催

参加者 32名

よこはま里山レンジャーズ 15名(うち職員1名)

横浜市のボランティア 12名(うち職員2名)

ボラ塾生 5名

○杉林の間伐作業と弱小木、欠頂木、暴れ木の除伐作業を3ボランティア団体の29名に對し、体験教室を樹林部会のメンバーの指導で行った。

○参加者を5組に分けて(よこはま里山レンジャーズ2組、横浜市のボランティア2組、ボラ塾生1組)樹林地部会14名を5組の担当に分け指導に当たった。

○10時いっしんどう広場にて参加者の紹介と作業意義、作業予定等の打ち合わせを行い、5班に分かれたそれぞれの作業予定地へ移動。

班別に作業、切り倒し手順など説明し、休憩をとりつつ 12時まで作業を行った。

○横浜市のボランティアの方々には「のこぎり」を使うのが初めての方が多く、「立ち木」を切り倒したという達成感を味わい、「玉切り」で最後まで切り終えた満足感を楽しんでいた。

○いっしんどう広場で昼食をとり、その後参加者に感想、要望等を聞き体験教室は終了した。

活動終了後 寄合で確認した事項

●3月20日頃を目途に来年度の予定、今年度の検収資料を作成する。

- 中野ケアプラザの利用申請継続。
- 『こじゅけい通信』隔月発行とする。



参加者メンバー



活動記録



体験教室メンバー



2班玉切り



一班シロダモ玉切り



活動後地風景

②2月26日(日)晴のち曇り 集合 9:30 池の下

◎参加者 浅見、枝村、小宅、佐谷、上手、高嶋、長谷川、星野、三島、山上 渡邊  
計 11名

◎作業場所 尾根道作業エリア 中尾根作業エリア

◎作業内容 ○池の下にて準備運動のラジオ体操を行い、尾根道作業エリアに移動して林床整理を行った。シロダモ、アオキの除伐と倒木(杉)の整理、玉切りを行ない整理した。倒木が意外に多くこの作業は1時間ぐらいの予定だったが午前中を要した。  
○午後は中尾根作業エリアに移動してコナラを移植するための根回し作業の根鉢づくりを行った。根鉢づくりの作業方法は渡邊さんより作業初めに全員でコーチを受け、必要数作成して作業は終了した。



尾根道倒木整理



コナラ 根鉢づくり



## ◆ リレートーク

浅見 聰

### <50年前の秋山郷>

昨年の研修旅行で栄村・秋山郷を訪ねましたが、50年前の山歩きを懐かしく思い出しました。まだ20代のころです。

志賀高原の発哺温泉から岩菅山・裏岩菅山・烏帽子岳・笠法師山と縦走して秋山郷に至る約20キロの行程でした。季節は夏。

このルートはあまり利用者が無く、ガイドブックにも、踏跡が不明瞭な所が何か所かあり要注意とありました。

歩いてみると、裏岩菅山までは良かったのですが、その先は正に注意書きの通り。2,3度道が判らなくなり、ちょっと戻っては方角を確認するという状況で、どうなることかと心細い限りでした。単独行でしたので、仲間に相談もできず、行き交う登山者もないのですから。おまけに、前夜の雨で、下半身びしょ濡れ。当時出始めた布製のキャラバンシューズも靴の中までグショグショ。

やっとの思いでルートをたどり、夕刻、秋山郷の和山温泉仁成館に着きました。山中では、ついに一人も会うことがありませんでした。宿の主人も「最近、コースの刈払いが出来ていない。よくまあ迷わず来られたねえ」と慰めてくれました。

当時の秋山郷は、和山の他に2,3か所の温泉があるだけで、今回宿泊した「のよさの里」などはもちろん無く、烏甲山と苗場山に囲まれてひっそりとした佇まいでした。仁成館は今もあるようで、訪ねてみたかったのですが時間が無く残念でした。

翌日は、苗場山を越え越後湯沢へ抜けましたが、苗場では女子高生の山岳部パーティーに会っただけでした。無人の山中、突然、全身黒ずくめの姿が前方から飛び出したので、一瞬、熊が現れたかとビックリしたら彼女達だったので。

そんなこんなで、忘れられない50年前の山旅です。

## ◆ 編集後記

三寒四温と言われる季節の第四活動日は風もなく、温かな森の一日でした。

コナラの根鉢を作った附近に枯れた杉と、コロコロした獣のフンが目にとまりました。

ノウサギが在来する円海山近郊緑地ですが、私は実際にお目にかかったことがなく、「このフンは外来種のアライグマか？」とも話題になりました。

生命が息づき、生物の営みが行われている瀬上市民の森の実証物です。(小宅)



枯れた杉には繊維が見える



どなたのフンですか？